

櫻井会長挨拶（開会）

全国町村議会議長会臨時総会を開会するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、各都道府県会長並びに事務局長の皆様におかれましては、ご多用の折にもかかわりませずご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず始めに、6月下旬から活発な前線の影響で、九州地方、とりわけ熊本県、宮崎県、鹿児島県で大雨となり、死者を含む人的被害及び住家被害が出ております。

被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災地の1日も早い復旧を祈念いたします。

現在は参議院選挙の真只中であり、国内の政治

も小休止状態となっておりますが、告示前の6月6日首相官邸において「国と地方と協議の場」が開催され、「骨太の方針」を主たる議題とした意見交換が行われました。

席上、私は、

「地方創生」を切れ目ないものとするために必要な「まち・ひと・しごと創生事業費」等の財政措置の継続・拡充

Society 5.0時代を迎えるにあたって、地方でも都市部と差異の無い医療や教育等のサービスを受けるための「情報インフラの整備促進」

発災から8年が経過した東日本大震災被災地において「心の復興」を推進するための仕組み作り

以上の3点について、要請して参りました。

限られた時間の中での意見陳述でしたので、思いの丈の全てを伝えることは適いませんでしたが、第二次安倍政権発足以降、国と地方が協力して取り組んできた「地域経済政策」と「地方創生」を必ずや実現させるとの意気込みは伝えてきたつもりです。

これからも、国と地方が信頼関係を持ってこれらの事業を推進していけるよう、地方六団体と連携を取りながら活動していくことが重要であると考えております。

さて、本日の臨時総会では、任期満了に伴う新役員を選任いただくこととなります。

新体制におかれましても、全国町村議会議長会が丸丸となって、町村並びに町村議会を取り巻く諸問題に立ち向かっていただきますことを期待いたします。

最後に、本日の会議が円滑に運営され、所期の目的が滞りなく達成されますよう、会長各位のご協力をお願い申し上げ、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。